

壇蜜ダイアリー

DAN MITSU DIARY

壇蜜・著

青春時代の曲で内腿が湿り気を帯び、堪え難い眠気と闘い、
雨の中カッパを着て自転車をこぎ、猫、魚、鳥に続いて蛇も飼う

壇蜜のあるがまま

今日もまた“自分いじり”に
磨きがかかる

1月12日
発売!

定価
本体1200円+税
文藝春秋

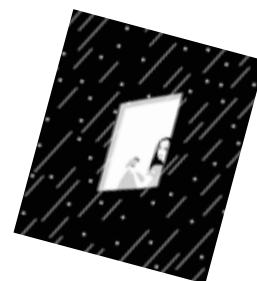
目次

- 2017-2018 冬 私はあさましく品がないが幸福者だ。
2018 春 欲望は抑えると、脇から形を変えてはみ出てくる。
2018 夏 仕事の趣は必ず顔や考え方に出てくると思っている。
2018 秋 独りで生きることしかできない体に着々と仕上がっている。

勝手に別れた男のことを勝手に思い出して勝手に浸り、
学生時代に好きだったプライドの高いクールな女の夢を見る。
美人女優の中にいると、自分は華やかな熱帯魚の水槽にいる出汁をとったあとの煮干
のようだと思い、水泳にヨガにサウナに行っても体脂肪は変わらず、
ナマケモノを飼ってナマケモノのために働く理不尽な生活をしたくなる……。

日記とは生々しい己を許し、あやし、戒める場所だという著者。
日々を低温に生きる“自分いじり”の筆が冴え渡る!

ぶきげんより、
壇蜜です。



テレビ、新聞、雑誌などにてぜひお取り上げいただければ幸いです。
本書について、著者への取材などのお問い合わせは、下記までお願いいたします。